

JUNGIDO

1898 =  = 2000

遵義の桜、さらなる開花

滋賀県立膳所高等学校同窓会報 遵義堂

発行人/宇野 勝
発行所/滋賀県立膳所高等学校同窓会
大津市膳所2-11-1
TEL077-524-4295・FAX077-524-1732
発行日/平成12年4月15日
編集人/広報部会・谷口啓司
印刷/有限会社服部印刷所

CONTENTS

| | |
|-----------------------|---|
| 百周年記念事業を終えて | 1 |
| 平成12年度総会のお知らせ | 1 |
| 第2グラウンド・トレーニングハウス活用報告 | 2 |
| 百周年実行委員会解散 | 3 |
| 平成12年度同窓会総会提出議案 | 4 |
| 百周年記念事業清算委員会報告 | 4 |
| 周年記念同窓会報告 | 5 |
| 周年記念同窓会予告 | 6 |
| 百周年記念募金ご寄付者ご芳名 | 6 |
| 膳所高NEWS | 8 |

VOL.17

百周年記念事業を終えて

創立百周年記念事業実行委員長
膳所高校同窓会長 宇野 勝



膳所高等学校同窓会の皆様お変わりなく、ご健勝にてそれぞれの場において活躍のことと拝察いたします。

不肖私も、平成3年度定期総会において図らずも同窓会会長に就任させていただきました。同窓会といたしましては、平成4年4月当初より、平成10年4月には母校創立百周年を迎えることを念頭に置き、同窓会役員各位、同窓会活動のより一層の活性化を図るべく部会制を創設、それぞれ皆立派な成果を挙げていただきました。

詳細は広報に譲りますが、例えば広報部会では広報JUNGIDO創刊準備号を発刊、以来現在まで第17号を発行、また組織部会では平成5年が母校創立95周年に当たるので同窓会名簿を発刊、同窓生の連帯意識の拡充強化に大変な成果を挙げていただきました。

平成7年2月には、学校、PTA及び同窓会三者一体となり協議の結果、百周年記念事業実行委員会を結成、全員合意の中で6部会を設置、各部会においてはそれぞれ事業を企画立案、事業実施の体勢に入ることになりました。

百周年実行委員会広報部会では平成7年11月百周年記念キャッチフレーズを募集「遵義の桜、咲いて100年」と決定いたしました。以後広報JUNGIDOをはじめ様々な印刷物でPRに努めていただきました。組織名簿部会では平成10年5月には名簿の刊行、平成10年5月末現在の卒業同窓生は3,102名となりました。また百年史記録部会では多くの先生方や同窓生の皆様のお世話になり、「教育史」「同窓会誌」及び「目で見る膳所百年史」(写真集)からなる内容豊富な立派な百年史の発行を見ました。

たしました。

残る問題は運動場の整備の問題でありました。現在の運動場は16,000㎡でいかにも狭く、県下高校中でも最低でありましたが、このことは県当局も十分ご認識いただいております、今回も大変なご配慮をいただき、本校に最も近いところで26,000㎡の土地を確保、これを第2グラウンドとして整備していただきました。整備後、環境施設整備部会では、予てより計画のトレーニングハウスの建設およびトレーニング機器の購入整備も完了し、平成11年12月14日竣工式を実施しました。これで百周年記念事業は役員各位の奮闘努力のお蔭により全事業を成功裡に完了いたしました。

また寄付金1億円の募金目標も、1億519、160円と満額達成できました。これ偏に同窓会各位のご理解ご協力のお蔭であり、改めて厚く御礼申し上げます。

折に触れ申しあげているところですが、膳所中学校また膳所高校は小学校・新制中学の義務教育修了後自らが選んだ第一の母校であります。最終の卒業校がどこであろうとも、我々同窓生は不思議なご縁でつながっているものであります。

さればこそ、この百周年記念事業も、募金活動も成功裡に終結したのであります。同窓生皆様方の、また各事業部会で立派な事業を成し遂げていただいた役員各位のご努力に心からなる感謝の念を表するものであります。

百周年記念事業は終わり、第2グラウンドの整備は終わりましたが、今後の課題は膳所高校の校舎が全体的に老朽化していること、また必要教室数が不足していることであり、これらの改築、増築が不可欠な大事業として残っております。創立以来百年は経過いたしました。新しい百年はすでに始まっております。これからの事業もすでに県当局の構想の中にあるようであり、同窓会としてもその進展を見ながら協力していきたいと思っております。人間は歴史の現実的存在であります。次の百年にも同窓意識を堅持しながら母校の更なる発展を祈り、また同窓各位の皆様方のご清栄を祈りご挨拶といたします。

本年の総会は5月14日(日)

平成12年度
総会のお知らせ

膳所高等学校同窓会平成12年度定時総会を左記の要項により開催いたします。お蔭様で昨年は百周年記念事業のトレーニングハウスが、新しく整備されました第2グラウンドの敷地内に竣工し、全ての事業を無事終えることが出来ました。引き続き皆様方の絶大なご支援により同窓会活動を盛り上げていただきたいと思います。どうぞ多数の方々のご出席をお願いいたします。

平成12年度同窓会総会

日時 平成12年5月14日(日)午前10時開会
(午前9時30分受付開始)

場所 琵琶湖ホテル
TEL 077-524-7111

議事 平成11年度会務報告
平成11年度会計報告並びに会計監査報告

その他 平成12年度事業計画並びに予算案

講演 「お天気ア・ラ・カルト」
講師 武田 栄夫(膳所高6回卒)

懇親会 (気象予報士)

(懇親会にご出席の方は、会費として10,000円を当日いただきましたたく存じます。)

出席のご返事は同封の葉書でお願いします。欠席の方および異動のない方はご返信いただかなくても結構です。

会費納入ありがとうございました。

同窓会会費納入状況

皆様から納入いただきました、平成11年度の同窓会会費は、平成12年3月30日現在、

総額 **10,668,000**円

となっております。前払いしていただいている方については、当年度分を振替充当して、上記金額に集計させていただいております。

会員の皆様のご理解に感謝しますと共に、ますますのご協力をお願いいたします。

今回、平成12年度会費として振替用紙を同封いたしておりますので、ご納入のほどよろしくをお願いいたします。

会費納入の詳細については7ページをご覧ください。(財務部会)

トレーニングハウス 竣工式

創立百周年記念事業として、昨年6月に着工いたしました「トレーニングハウス」も同年12月14日に無事竣工式の日を迎える事ができ、齊主、膳所神社東郷宮司によって、午前10時より神事が執り行われました。厳かなうちに式は進み、関係各位の玉串奉奠のち閉会となり、一同安堵感に包まれました。

当日の出席者は、招待者、学校、PTA、同窓会など計38名でした。



サッカー班

第2グラウンドは、僕たちサッカー班も完成前からとても楽しみにしていました。そして、去年の夏とうとう完成し、僕たちも第2グラウンドで練習する中でそのすばらしさを実感しています。従来のグラウンドは一つのグラウンドをいくつもの班が使っていたので、練習も限られていました。しかし、第2グラウンドができて、使用できる面積が広がり、大きい展開の練習や、トレーニングもできるようになり、練習の効率も格段に上がりました。また、トレーニングハウスや管理棟も設置され、さらに充実した活動ができるようになりました。僕たちは、このようなすばらしいグラウンドを使用するに当たって、できる限り美しく

使えるように心がけています。その一つとして掃除を行ったりして美化に努めています。

このグラウンドは、地域の人々を始め、その他多くの人々の力によって完成ということを決して忘れず感謝し、その先いつまでも大切に使用していきたいと思えます。

(2年 宮本 秀雄)

テニス班

昨年9月に第2グラウンドにテニスコートが完成しました。全天候型2面とクレイ4面の6面の新しいコートです。学校で練習ができる喜びとともにとても充実した練習をしています。

同好会として出発した12年前は、皇子が丘コートで練習していました。授業が終わると電車や自転車移動します。テニスボールは、部員が手分けして運搬しました(後には、ご厚意でスポーツ店に置かせて頂くことができました)。

夏休みには、大石コートが練習場所になりました。どの年代の先輩方も練習場所の確保に苦労されたと聞いています。皇子が丘、尾花川、大石、草津矢橋、大津プリンスホテル、いずれも練習でお世話になった所です。

多くの先輩方の努力や先生方のご尽力によって学校内にコートが練習できるようになりました。コートは大切に使用しています。毎日の整備はもちろんのこ

すばらしさを実感。いつまでも大切に使用していきます。 第2グラウンド・トレーニングハウス活用報告

と、転圧ローラーをかけた後、砂を入れたりしています。気を抜くとすぐに草が生えます。草取りや全天候コートの小石取りは欠かすことができません。新しいコートに立ったときの感激とコートを大切に使う心遣いを後輩達に引き継ぎ、有意義にコートを使っていきたいと思えます。

(2年 加藤 千尋)



ラグビー班

僕達ラグビー班は、第2グラウンドは使用せず、今までと同じ第1グラウンドで活動していましたが、トレーニングルームは完成した当初から、週に3回ほど使用しています。

新チームになって、体が小さい僕達にとって、筋力アップをはかるのに非常に役立つものとなっています。冬場は寒く器具も冷たくなり、外でのトレーニングはつらかったのですが、トレーニングハウスは暖房も整っているのもそういふこともなく薄着でトレーニングに励むことができました。また、大きなマシンが2機もあるのが、様々なトレーニングが安全にできます。重量の上げ下げもピンポイントでできるので、簡単に時間の短縮にもなります。色々と良い点があり、今までより大きな効果が得られると思うので、引き続きトレーニングハウスは使用したいと思えます。

(2年 貝増 亮彦)



野球班

僕達膳所高校野球班は、チーム一丸となって甲子園を目指して日々練習に励んでいます。去年の夏からグラウンドを、また冬からはトレーニングハウスを使用していただいています。このような施設を整備してくださった本校OB・OGの皆様には感謝の気持ちでいっぱいです。本当にありがとうございます。

新しいグラウンドには黒土も入れていただき、より実践に近い練習ができるようになりました。また、トレーニングハウスでは最新のマシンで冬の間鍛えてきた結果、確実にレベルアップしたという実感を得られるようになりました。

秋の大会は初戦敗退という残念な結果に終わりましたが、春の大会で勝つ力と自信をつけ、夏の大会で実力を100%発揮して戦えば、おのずと甲子園への道は開けてくることと思えます。今後ともご声援よろしくお願ひします。

(2年 西田 慎吾)

バドミントン班

僕たちバドミントン班は今年の1月からトレーニングハウスを使わせていただいています。部員達は皆完成を心待ちにしていたので、完成して、いざ行ってみたいという気持ちでびっくりしました。顧問の先生から正しいトレーニングの仕方や、効果的な栄養のとり方を教わり、週に2、3回トレーニングに励んでいます。冬は暖房があるので怪我などの心配も少なく、快適にトレーニングができます。先日の身体測定では皆体重が増え、まだトレーニングを始めて2ヶ月くらいですが、筋力UPの兆しが見え始め、喜んでいきます。これからもライバル校にはないこの設備でトレーニングに励み、「勝利」につなげていこうと思っています。

(2年 杉山 史哲)

生徒課より

3月に管理棟が完成したことにより、第2グラウンドの工事が終わりました。グラウンドでは、野球、サッカー、テニスの各班が主に活動しています。トレーニングハウスにはアスレチックジムを彷彿とさせるようなウエイト機器が取り付けられた部屋の他、ミーティングルーム、シャワールームがあります。現在、大変盛況で、毎日複数の班が体力アップを図り利用しています。管理棟には、前述の3班が部屋を持つ他、救護室も設置され、万一場合に備えることができるようになりました。今年度の湖風祭において、県の「夢サポート事業」の援助を受けて作製された信楽焼によるタイトルアートが、管理棟の外壁に見事に飾り、保存されることになりました。

第2グラウンドや施設の整備に当たっては、多数の方々のご理解とご協力を得て、充実させることができました。関係の方々のご努力に感謝し、それを無駄にすることのないよう大切に利用していきたいと思えます。

(教諭 加藤)

皆様にただただ感謝!! そして、役員の皆様ご苦勞様でした。

百周年実行委員会 笑顔で解散!



2月20日(日)午後4時30分より琵琶湖ホテル「琵琶湖の間」において、「同窓会理事会並びに創立百周年記念事業実行委員会総会」が県教育委員長南 光雄様、県教育長吉川 勉様をはじめ多数のご来賓をお迎えし総勢100名を超える参加者のもとに開催されました。

百周年記念事業実行委員会総会議事において、平成12年1月31日現在における会務報告、会計報告が満場一致で承認可決され、同日をもって百周年記念事業清算委員会を発足、清算事務を一任することにより、実行委員会の解散が決議されました。

これにより、平成7年2月4日設立以来5年間の長きに亘り、ひたすら母校膳所高校の百周年という記念すべき節目の年を意義あるものと日夜奮闘いただいた実行委員会の活動に終止符が打たれました。

百周年記念事業 実行委員会総括報告

実行副委員長 宇野 敏一

顧みますと、膳所高校同窓会では、平成3年定時総会で新役員が決定され学校創立百周年を目標として取り組みが始まり、同4年総会で新しい同窓会会則と組織を決定し、以降、学校と協力して各種調査を行いながら意見のまとめと調整を計り、同6年総会で学校・PTA・同窓会で3位1体の組織を作ることを会長から説明しました。そして21回に及ぶ各種準備会議の後、平成7年2月の設立総会をもって本実行委員会が発足しました。

それ以後、実行委員会総会が5回、事務的な会合としては会務報告に上がつているだけでも、常任委員会4回、百年史記録部会54回、記念行事式典部会20回を始めとして、各部会、部会長会議、事務局会議、学校

側での校内企画委員会等何れも十数回から数十回、会務報告に含まれていない打合せ会まで入れると数百回にも達する諸会合が持たれました。また此の間、寄付金控除対象募金に対応するため、本実行委員会と表裏一体の百周年記念環境・施設整備推進委員会を作った他、環境・施設整備部会を発展的に建設委員会に改組しました。

平成10年11月の記念式典・祝宴に続き、募金はお蔭をもちまして満額を達成し、トレーニング・ハウスの竣工をみて計画した諸事業は総て終了し、百周年事業はめでたく完了を迎えました。そこで、清算委員会をつくって後の処理を任せ、平成12年2月の総会をもちまして滋賀県立膳所高等学校創立百周年記念事業実行委員会を解散いたしました。実行委員諸兄弟の絶大なご努力に対し深謝するとともに、記念事業を支えて下さった学校・PTA・同窓会の皆様と関係各位のご支援に衷心より感謝いたします。

記念行事式典部会

部会長 村西 康彦

既刊の同窓会報「JUNGIDO15号」(平成11年4月15日発行)ならびに、「膳所高PTA会報10号」(平成11年3月1日発行)にて、詳細にご報告させていただいておりますが、平成10年11月7日、びわこホールに於いて「記念式典」(参加者1,947名)、引き続き大津プリンスホテルに於いて「同窓会式典・祝宴」(参加者670名)が共に盛大裡に執り行われました。

ここに改めて、関係各位のご協力に対しまして謹んで御礼を申しあげ感謝の意を捧げます。

百年史記録部会

部会長 上野 滋子

百周年記念事業の一つとしての「百年史」の発刊が、与えられた予算内で出来たことは何よりでありました。

4年余に及ぶ編集作業は大変なことでしたが、いま思えば、予算の関係で頁数が二転三転したりして不安な時期もありましたが、600頁に及ぶ「百年史」を手にして胸が一杯になります。教育史の執筆や編集をしていただいた先生方に、また、座談会に出席いただいた校長先生や同窓生の皆様に、数々のご協力に対し、心より感謝申し上げます。原稿の整理や校正、座談会の準備などのために毎週のように事務局に集まり作業した編集委員数名も、最初から最後まで替わることなく、仲良く励ましあって頑張ったことを、完成の本と共に喜びとしております。この本が百年の誇りとして残され、百年後の参考となることを願って止みません。

なお、百年史は2,200冊作成し、1,053冊を販売、学校・教育関係への贈呈、5万円以上の募金者への贈呈を差し引き、残数は186冊となっております。

組織名簿部会

部会長 岡角 憲次

学校創立百周年を記念して「会員名簿」を発刊し、ご希望の皆様配布をさせていただきました。お蔭様で平成11年12月末日で、6,121冊を売り上げることが出来ました。これも皆様方のお力添えの賜物と厚くお礼申し上げます。現在30冊ほどの在庫がございますのでご希望の方は同窓会事務局へお申込みください。会員のご住所は思った以上に一刻と移動されます。お住まいを変えられたら即刻事務局へその由ご連絡ください。

名簿の発刊を終えた後、募金推進部会からの要請を得て文字通り組織名簿部会の底力を遺憾なく発揮し、大いに募金の推進に貢献したものと自負しております。ありがとうございます。

募金推進部会

部会長 岡角 憲次

募金推進部会からは、募金目標額達成に達成し唯々お礼を申しあげるのみです。

当初、パブルの崩壊で、今時1億円も集めることが出来るだろうかと大変悲観的な意見がでておりました。案の定、企業からの募金が予想以上に悪く厳しいスタートとなりました。しかし、半ば、組織名簿部会のお手伝いを得て急に明るい展開が見え始め、特に後半には各学年の常任理事の心温まるご協力をいただき、この様な嬉しい結果を得ることが出来た次第であります。最終的に募金は1億519,160円で締め切らさ

せていただきました。会員の皆様方本当にありがとうございました。

百周年記念事業建設委員会 (環境・施設整備部会)

阪田 順

「建設費5500万円、機器整備費500万円、総事業費6000万円」にて着手しました記念事業の「トレーニングハウス建設等環境施設整備事業」も、昨年12月14日に竣工を終え、船便・通関の関係で遅れておりました残り1台のトレーニングマシンも、年明け1月14日設置を完了し、ご心配をおかけしました事業を無事終えることができました。

「JUNGIDO14号」にて公募し、設計業者選定、施工業者入札・近隣説明会・起工式等々、約1年間の苦勞も過ぎてしまえば長くもあり短くもあり、それなりに充実した楽しい時の流れでありました。

その間、募金推進部会を始め百周年記念事業実行委員会役員の方々、更に、快く募金に応援いただいた同窓生の皆様、心より厚く御礼を申し上げます。そしてまた、環境・施設整備部会の皆様には、発足より5年間10数回に亘る部会にご出席いただき、熱意溢れる議論を重ねるすばらしい記念事業を企画決意いただき、誠にありがとうございました。

この施設が、文武両道を標榜する母校膳所高等学校の更なる発展の一助とならんことを祈念しつつ、御礼の言葉を添えご報告いたします。

広報部会

部会長 松平 智康

「遵義の桜咲いて百年」のスローガンの決定に始まり、広報部会の計画も数点不可能となりましたが、膳所高校校舎屋上の看板、駐車場のモニユメント入り口の垂れ幕の設置をはじめ、発送の封筒へのスローガン、PR等々少しは盛り上げに役立ったかと思われれます。無事百周年の目標も達成され、新世紀への母校、発展の布石となったと思われれます。

スローガンへの応募に、ご協力下さった同窓生並びに現役の学生に感謝し広報部会へのお力添えをいただいた方々、最後に広報部会諸兄弟に心から深謝し報告いたします。

百周年記念事業 清算委員会報告

百周年解散総会で発足した清算委員会は、同総会以降の清算事務を行い、平成12年3月4日に清算報告書を作成して、同日、解散いたしました。

記念事業の全期間にわたる収支と残余財産は別表の通りで、残余財産は総て同窓会特別会計に引き継ぎました。

以上により百周年記念事業の事務処理は一切完了いたしました。

なお、メンバーは

清算委員長（百周年実行委員長）宇野 勝 以下

清算委員（同実行副委員長）宇野敬一（同会計）東郷利夫、和泉正俊

（同事務局）泉谷千秋、新川 均、宇野昌明

（同監事）沢井すみ子、渡邊敦子、百岳光好の10名でした。

百周年会計報告（H7.2.4～H12.3.4）

実行委員会会計

《収入の部》

| 項目 | 累計 |
|----------|------------|
| 借入金 | 10,000,000 |
| 祝宴会費収入 | 6,330,000 |
| 百年史売上金 | 5,270,000 |
| 写真集学校負担金 | 500,000 |
| 募金収入 | 59,823,159 |
| 利息 | 48,055 |
| 合計 | 81,971,214 |

《支出の部》

| 項目 | 累計 |
|-------------|------------|
| 会議費（総会・式典他） | 13,988,031 |
| 交際費 | 1,134 |
| 通信費 | 8,078,363 |
| 旅費交通費 | 14,120 |
| 支払手数料 | 400,151 |
| 事務用品費 | 40,644 |
| 備品・消耗品費 | 682,348 |
| 印刷費（百年史他） | 24,942,767 |
| 発行費 | 357,500 |
| 施設整備費 | 23,307,730 |
| 借入金返済 | 10,000,000 |
| その他 | 13,556 |
| 合計 | 81,826,344 |

差引残高 ￥144,870（＝81,971,214－81,826,344）

環境・施設整備推進委員会会計

《収入の部》

| 項目 | 累計 |
|------|------------|
| 募金収入 | 40,696,001 |
| 利息 | 17,841 |
| 合計 | 40,713,842 |

《支出の部》

| 項目 | 累計 |
|----------|------------|
| 支払手数料 | 69,620 |
| 環境・施設整備費 | 40,644,222 |
| 合計 | 40,713,842 |

《収入参考》（平成7.2.4～12.3.4）

| 項目 | 累計 |
|--------|-------------|
| 一般募金収入 | 59,823,159 |
| 免税募金収入 | 40,696,001 |
| 利息 | 65,896 |
| 合計 | 100,585,056 |

（募金収入計 100,519,160）

《支出参考》部会別予算及び支出合計（平成7.2.4～12.3.4）

| 部会 | 支出 | 予算 |
|----------|-------------|-------------|
| 記念行事式典部会 | 5,108,530 | 7,500,000 |
| 百年史記録部会 | 11,483,332 | 12,000,000 |
| 募金推進部会 | 9,851,012 | 10,000,000 |
| 組織名簿部会 | 491,978 | 500,000 |
| 環境施設整備部会 | 64,055,298 | 60,000,000 |
| 広報部会 | 686,700 | 1,000,000 |
| 諸経費（予備費） | 8,763,346 | 9,000,000 |
| 合計 | 100,440,186 | 100,000,000 |

注：祝宴会費収入、百年史売上等、募金外収入は差し引いてあります。

差引残高 ￥144,870（＝100,585,056－100,440,186）

残余財産目録（H12.3.4）

| | |
|-------------|----------------|
| 現金 | 144,870円 |
| 百年史 | 186冊（@ 5,000円） |
| 写真集 | 298冊（@ 1,000円） |
| 祝宴ビデオテープ | 4巻（@ 2,000円） |
| 百周年テレフォンカード | 100枚（@ 500円） |

平成11年度同窓会会計中間報告・平成12年度同窓会総会提出議案

2月20日(日)琵琶湖ホテルにおいて、創立百周年記念事業実行委員会と同時開催された同窓会理事会で、平成11年度同窓会会計中間報告が承認され、続いて平成12年度の事業計画・予算案が平成12年度総会提出案として承認されました。

平成11年度 同窓会会計中間報告（H11.4.1～H12.1.31）

一般会計

《収入の部》

| 項目 | 金額 | H11年度予算 | 備考 |
|----------|------------|------------|---------------|
| 前年度繰越金 | 7,500,913 | 7,500,913 | |
| 平成11年度会費 | 4,510,000 | 3,000,000 | 会費会計より振替 |
| 前受会費 | 6,054,000 | 6,054,000 | 会費会計より振替 |
| 同窓会入会金 | 1,281,000 | 1,300,000 | |
| 雑収入 | 26,880 | 50,000 | 受取利息+タックシール代等 |
| 合計 | 19,372,793 | 17,904,913 | |

《支出の部》

| 項目 | 金額 | H11年度予算 | 備考 |
|------------|------------|------------|----|
| 総会費 | 883,906 | 1,200,000 | |
| 会議費 | 267,849 | 300,000 | |
| 交際費 | 21,025 | 100,000 | |
| 通信費 | 274,992 | 300,000 | |
| 光熱費 | 130,295 | 150,000 | |
| 旅費交通費 | 1,200 | 200,000 | |
| 支払手数料 | 121,908 | 100,000 | |
| 雑給与 | 2,322,500 | 3,000,000 | |
| コンピューター関係費 | 561,750 | 300,000 | |
| 事務用品費 | 256,713 | 300,000 | |
| 備品・消耗品費 | 5,693 | 100,000 | |
| 広報発行費 | 2,313,677 | 2,500,000 | |
| 広報発送費 | 5,025,232 | 5,000,000 | |
| テレカ作成費 | - | - | |
| 特別費 | 500,000 | 500,000 | |
| 慶弔費 | 32,600 | 100,000 | |
| 班活動奨励金 | 500,000 | 500,000 | |
| 広報部部会費 | 25,532 | 400,000 | |
| 組織部部会費 | 7,480 | 300,000 | |
| 事業部部会費 | 345,651 | 500,000 | |
| 財務部部会費 | - | 500,000 | |
| 総務部部会費 | - | 200,000 | |
| その他 | - | - | |
| 予備費 | - | 1,354,913 | |
| 合計 | 13,598,003 | 17,904,913 | |

差引現在残高 5,774,790（＝19,372,793－13,598,003）

平成12年1月31日現在

一般会計現在残高 5,774,790 + 会費会計現在残高 17,080,741 = 22,855,531

平成12年度 事業計画案（概要）

会員相互の親睦と教養の向上、母校に対する支援・協力の諸事業を行う。

総務部会 年次総会・理事会の開催、役員会は必要に応じ開催する。

財務部会 会費収入の減少が予測されるので会費納入の促進、財政面の充実に努める。

事業部会 総会の開催、ゴルフ大会等の開催を通じて同窓会活動の活性化を図る。

広報部会 会報「JUNGIDO」の発行を今年度は1回とし4月中旬発行。

組織部会 各組織の充実、年間を通し名簿の整備を図る。

平成12年度 予算（案）

一般会計

《収入の部》

| 項目 | 金額 | 備考 |
|----------|------------|----|
| 前年度繰越金 | 4,100,000 | |
| 平成12年度会費 | 3,000,000 | |
| 前受会費 | 6,016,000 | |
| 同窓会入会金 | 1,300,000 | |
| 雑収入 | 30,000 | |
| 合計 | 14,446,000 | |

《支出の部》

| 項目 | 金額 | 備考 |
|------------|------------|----------------|
| 総会費 | 1,100,000 | |
| 会議費 | 300,000 | |
| 交際費 | 80,000 | |
| 通信費 | 470,000 | 総会出欠はがき含む |
| 光熱費 | 150,000 | |
| 旅費交通費 | 160,000 | |
| 支払手数料 | 130,000 | |
| 雑給与 | 2,200,000 | |
| コンピューター関係費 | 300,000 | |
| 事務用品費 | 280,000 | |
| 備品・消耗品費 | 100,000 | |
| 広報発行費 | 970,000 | 1回分 |
| 広報発送費 | 2,680,000 | 1回分・会費振込み用紙代含む |
| テレカ作成費 | 350,000 | |
| 学校助成金 | 500,000 | |
| 慶弔費 | 100,000 | |
| 班活動奨励金 | 1,000,000 | |
| 広報部部会費 | 350,000 | |
| 組織部部会費 | 200,000 | |
| 事業部部会費 | 400,000 | |
| 財務部部会費 | 200,000 | |
| 総務部部会費 | 200,000 | |
| 予備費 | 2,226,000 | |
| 合計 | 14,446,000 | |

周年記念同窓会



20周年記念同窓会

(膳所高28回・昭和55年卒業)

Y2K問題の余韻も消えやらぬ2000年1月2日、昭和55年卒業生による卒業20周年記念同窓会が浜大津の琵琶湖ホテルで催されました。増井金典先生を始めとする12名の懐かしい先生方をお招きし、127名もの同窓生が集う盛大な会となりました。

まず発起人代表若吉祥子氏より「2000年に20周年、これはもう同窓会をやるっきゃない、と思いいちました。」との挨拶の後、司会進行をNHKアナウンサーの野村正育氏にお願いして和気あいあいの内に会が進みました。先生方からも同窓生からも「今だから話せる」話がいりる披露さ



平成12年1月2日 於 琵琶湖ホテル

れ、旧交を温めると共に旧友の新たな一面を知ることになった。楽しい時間をすごすことができました。

その一方Y2K問題のために休暇がとれず帰省できなかった人も多く、2000年でなければもつと出席率も上がったろうにと、残念に思うと同時に、各界の中堅として重要なポジションで活躍されている様子を頼もしく誇らしく感じたことでした。

今回、短期間のうちに見事に準備を下さった若吉夫妻を始めとする各クラスの発起人の方々に感謝すると共に、次回にはさらに多くの懐かしい顔と再会できることを願いつつ記念すべきミニニウム同窓会は幕を閉じました。(西川 綾子)

40周年記念同窓会

(膳所高8回・昭和35年卒業)

快晴の去る3月18日(土)、膳所高校昭和35年卒業生の「膳八会卒業40周年記念同窓会」を湖畔のロイヤルオークホテルにおいて、同級生130余名に来賓の同窓会長の宇野勝様、校長の浅田幸作様、恩師7名をお迎えし開催した。

当日は14時より受付を開始の予定であるにもかかわらず時間を待ちきれず、13時頃より海外(サンフランシスコ、ニューデリー等)からこの同窓会の為に帰国し参加してくれた仲間もいてくれ、ロビーのあちらこちらで談笑がはじまる。15時の開会宣言の後、全員で君が代、校歌を合唱し、実行委員長の挨拶、同窓会長、校長の祝辞の後、今回の同窓会を記念し母校に「グランド用ポール時計」を寄贈の目録の贈呈で式典を終了した。引き続き、第2部の栢木寛昭氏の記念講演、祝宴、二次会、三次会、さらには、翌日の「故郷再発見の旅」「ゴルフコンペ」と2日間に亘り楽しく有意義な時をもつことができた。(委員長 秋野 正誠)

45周年記念同窓会

(大津東2回・昭和29年卒業)

昭和29年に卒業して早や45年が経過した私達、5年ごとに記念同窓会を開いているが、45周年同窓会を開催しようと定めたのは、10月に入ってから



平成11年12月4日 於 琵琶湖ホテル



寄贈の「グランド用ポール式時計」

古稀記念同級会

(膳中46回・旧膳所高卒業)

らであった。数名の世話係によって慌ただしく準備をして12月4日に無事催すことができた。今回は急なことであり恩師をお呼びすることもなく、同期生が90名近く集まり、琵琶湖ホテル5階の和室で、美しい琵琶湖を眺めながら和やかに催した。まず、永遠に参加することのできない物故者に黙祷を捧げた。世話人の一人として百周年事業の完了と、同窓生として母校に協力できたことの感謝をのべ、東二会の仲間の多くが同窓会役員として活躍していることを報告。その後懐かしい思い出話に時の過ぎるのも忘れ談笑し、45年前と変わらぬ友情を確かめ合い、名残を惜しみつつ5年後に再会できることを祈念して散会した。(上野 滋子)

「二年振り、少し痩せたのと違う」「実は去年は病院生活をしたもので、「いい顔色しているなあ」「週二回くらいはゴルフを」等々少し落差のある会



平成12年1月29日 於 琵琶湖ホテル

話を、まだ学校時代の愛称が飛び交う中で、同級生の多くが古稀を迎えたことを祝い、記念して1月29日(土)浜大津の琵琶湖ホテルで関東からの遠来組4人を含め68名の参加を得て「古稀記念同級会」と銘打ち開催した。

記念写真撮影のあと、物故者の慰霊法要を級友天台宗大僧正大角光徹師の導師により厳修、その中で今は亡き61名の学友一人ひとりの名前の読み

上げにありし日を偲び感慨深いものがあつた。
世話人会代表の中井善作兄のウィットに富んだ挨拶に続き、級友の消息等の報告、特に欠席報告理由に「療養中」とか「体調不良」が30%近くあつたのが大変気掛かりであつた。

懇親会では、美人コンパニオン嬢の華やかな参加もあつて、心は戦中戦後の波乱の膳所の青春時代に逆流、多くの車座で懐古談や趣味、ボランティア活動などの近況が盆を重ねつつ進む。

恒例の校歌「草むす城は...」の大合唱で母校愛と同期の絆を一層昂め合ったが、歌詞を全く見ずに四番までを唱う何人かの友には感服した。

写真印刷の「同窓会誌」(出欠報告の葉書に近況などを百字位のコメントに纏めた百三十人分の小冊子)は、欠席者からも好評で電話などで旧交を暖め合った友も多くあつた。

達者での再会を約しつつ、二次会あるいは家路についた。
(田中 健一)

同窓会ゴルフコンペ 賑やかに!!

平成11年11月23日(祝)第4回同窓会ゴルフコンペが、秋たけなわの信楽の里、メイプルヒルズゴルフ倶楽部において、第2グラウンド完成記念と銘打って開催され、88名の参加者が、先輩後輩の世代を越え、好天のグリーン上で熱戦を繰り広げた。プレー終了後、クラブハウスにおいて、参加者中最年長の原田清二氏(昭18年膳中41回卒)による乾杯の発声で懇親会、成績発表(Wペリア方式によりハンデ算出)が行われ男子の部、和田公良氏(昭46年膳高19回卒)女子の部、長谷川敏子氏(昭和38年膳高11回卒)が優勝、総合優勝和田公良氏に阪田順同窓会副会長より、同窓会長杯が授与された。

- 10位までの上位入賞者は次の通り。
- | | |
|----------|--------------|
| 2位 若吉 亮一 | 7位 山田 勲 |
| 3位 上野 勝彦 | 8位 上木 徹 |
| 4位 桑野 純夫 | 9位 秋野 正誠 |
| 5位 森江 輝元 | 10位 田中 輝彦の各氏 |
| 6位 平井 浩 | |

今年も秋に開催の予定です。各学年理事を通じて案内をしています。案内をご希望の方は同窓会事務局までお問い合わせください。

(事業部会長 織田 勝美)

周年記念同窓会 予告

20周年記念同窓会

昭和56年卒業(膳所高29回)

- 日時 平成13年1月2日(火) 予定
- 会場 大津市内で予定
- 代表世話人 富江 宏(膳所高校内)
- ※詳細は、別途案内いたします。
- 同窓会の準備をお手伝いくださる同窓生を募集しています。ご連絡ください

25周年記念同窓会

昭和50年卒業(膳所高23回)

- 日時 平成12年5月4日(祝)
- 会場 ロイヤルオークホテル
- 連絡先 姜 永根
- TEL 0777・5337・3128
- FAX 0777・5334・4380
- E-mail aaa.21250@pop.01odn.ne.jp



メイプルヒルズゴルフ倶楽部にて

30周年記念同窓会

昭和46年卒業(膳所高19回)

- 日時 平成13年1月2日(火) 午前11時半受付
- 会場 琵琶湖ホテル(浜大津)
- 世話人 三原辰吉郎・水谷 正
- 連絡先 TEL 0777・5333・3550
- (株式会社UNI設計内)
- ※追って秋(10月頃)にご案内させていただきます。

50周年記念同窓会

昭和24年卒業(膳中47回)

昭和24年卒業 旧大津高女
昭和24年卒業 旧大津市立高女
昭和25年卒業(大津高1回)

- 日時 平成12年6月10日(土) 午後3時30分
- 会場 大津プリンスホテル
- 世話人 岡角憲次・高橋 勉・横田陽子
- 連絡先 TEL 0777・5337・2548
- 事務局長 大西元則
- ※30周年・40周年に出席された以上の参加をお待ちしております。

55周年記念同窓会

昭和20年卒業(膳中43回) (4年卒クラス)

- 日時 平成12年10月5日(木) 午前2時半受付
- 会場 ロイヤルオークホテル(瀬田・萱野浦)
- 幹事代表 瀬田 岡田 章(0777・5445・0984)
- 石山 家田 嗣郎(0777・5334・5784)

膳六会 昭和33年卒業

- 2001年春 カジュアルパーティ開催
- 卒業43周年、リラックスティラックスティパーティーを計画しています。詳細は追ってご連絡いたします。
- 代表幹事 渡辺俊彦
- TEL & FAX 0777・5222・5479

真珠会 昭和24年卒業(旧大津)

- 日時 平成12年6月18日(日) 11時半
- 会場 ロイヤルオークホテル内
- 中国料理 湖園
- (直通) 0777・5433・9126
- 大津市萱野浦23の1
- 世話係 当番幹事

ご協力ありがとうございました

創立百周年記念募金

ご寄付者ご芳名 <敬称略>

<1999年11月2日~2000年1月31日(募金終了)の期間にご寄付いただいた方々です。>

| | | | | |
|----------------|--|-----------------------------------|----------------|---------------------------|
| ■昭15中 松浦 義規 | 植大川 田中 村谷島 中山 大川田 中福 藤美濃 山岸 渡大 | 博隆 政介 康隆 富士夫 富光 英健 俊文 俊文 | ■昭31東 中村 登 | ■昭43膳 井上 恵美子 |
| ■昭16中 今井 義夫 | ■昭23中 魚谷 隆 | ■昭26大 中村悦子 大濱 沙江子 | ■昭33膳 川那辺 敏 | ■昭46膳 鶴飼 猪一郎 望 月 徹 |
| ■昭28東 今市 信夫 | ■昭29東 森川 正信 | | ■昭35膳 梅田 一徳 | ■昭62膳 青木 治亮 田中 木喜代子 |
| | | | ■昭36膳 内貴 博 | |
| | | | ■昭37膳 市川 治良 | |

お蔭様で募金活動を無事終了させていただき、過去3回のご寄付者ご紹介に加え、本紙でもって全てのご寄付者ご芳名をご紹介させていただきました。
なお、万一ご紹介もれや記載ミスがございましたらお手数ながら事務局までご一報ください。
ご支援、ご協力誠にありがとうございました。

<募金推進部会>

浅田校長ご退職

毎年この時期にはお別れする先生方がおられます。今年は、本校教育に多大の功績を残された浅田幸作校長のご退職なさることとなりました。先生は昭和33年3月本校をご卒業（膳所高第6回）になり、大学ご卒業の後、昭和39年から教諭として大津商業高校、大津高校に、その後、県教育委員会に、校長として甲南高校、瀬田工業高校、平成10年4月から本校に勤務されました。その間、教科指導（社会科、主として地理、政治・経済、倫理社会）をはじめ、様々の先進的な取り組みを遂行され、高校教育推進にご尽力され、さらに、校長として生徒、保護者、県民の信頼を得る学校経営を展開されその成果をあげられました。また、県高校野球連盟会長、県高校体育連盟漕艇専門部長、県書教育研究会会長等の要職を努められ、文化・体育の振興にもご尽力されました。本校においては、平成10年11月に創立百周年記念式典を成功裏に挙行できるようご努力され、第2グラウンド新設にも尽くされました。そして、県下を代表する伝統校として、引き継ぐべき校風を見極めつつ、来世紀を見通した学校づくりをされました。先生は、その長年のご功績により、名誉ある平成11年度教育者表彰をお受けになり、昨年11月に東京の国立劇場で表彰式が行われました。

さまざまな角度から高い識見をもってご指導下さった先生をお送りするのは寂しい限りですが、今後は一歩離れたところから本校の教育及び同窓会活動にお力添え頂けることを信じ、先生のますますのご健康とご活躍をお祈りしたいと思います。

校長先生への謝辞

会長 宇野 勝

浅田幸作校長が今春ご退職になります。本校の教育に誠と熱意を注いでこられた証として、過日教育功労者文部大臣表彰を受賞されました。輝かしいご功績に深い敬意と謝意を表しますと共に、今後のご多幸と、本会への変わりぬご尽力を願ひ、贈る言葉といたします。

投稿欄

膳所駅を過ぎればいつも思い出す
百周年の膳所高あるを

なつかしき膳所高校のある駅を

過ぎてしばらく感慨無量

川崎 洋子（旧職員）

落ち葉散る 志賀の山里 波静か

古き友々 ここに集る

過ぎし年月のやくわりいかと

西村 武（大阪・門真）

膳所高卒業生寄贈図書

「石鹿文庫」

著者名 書名・巻次（版次）

滋賀県立膳所高校ラグビーオールドボーイズ倶楽部
とらい 滋賀県立膳所高校
ラグビー班50周年記念誌

三品 文雄 下水道施設における硫化水素の
生成と制御に関する研究

北脇 洋子

棺を蓋いて事定まる
高橋是清とその時代

馬杉 七郎

飄々

安田 義守

涙の後は笑おうよ

宮城 亮

心臓移植者とその家族たちの声

八幡 和郎

葵の呪縛 日本をダメにする
「徳川株式会社」

卒業生文庫「石鹿文庫」へご寄贈を。

同窓生の著書を集めた「石鹿文庫」も皆様のご寄贈で充実してまいりましたが、さらなる充実をめざしてご協力をお願いします。なお、ご寄贈いただく際には同窓会事務局までお知らせください。

事務局日誌

同窓会会務報告

| | | |
|-------|-------|-----------------------------|
| 1999年 | 11・6 | 百周年実行委員会常任委員会 |
| | 11・11 | トレーニングハウス・県への寄付採納申請 |
| | 11・23 | 同窓会ゴルフコンペ |
| | 11・29 | 国税局への報告書提出（第1回目） |
| | 11・30 | 同 右（第2回目） |
| | 12・2 | 百周年事務局会議 |
| | 12・8 | JUNGIIDO第16号発行 |
| | 12・9 | トレーニング機器第一次搬入設置 |
| | 12・10 | 国税局への最終報告書提出 |
| | 12・14 | トレーニングハウス竣工式 |
| | 12・16 | 同窓会部会長会議 |
| | 12・31 | 同窓会総務部会 |
| 2000年 | 1・8 | 創立百周年記念・一般募金終了 |
| | 1・14 | 百周年事務局・同窓会総務部合同役員会 |
| | 1・20 | 同窓会部会長会議 |
| | 1・22 | トレーニング機器設置完了 |
| | 2・1 | 同窓会理事會・百周年実行委員会総会懇親会 |
| | 2・3 | 同窓会部会長会議 |
| | 2・15 | 百周年会計監査 |
| | 2・20 | 同窓会理事會・百周年実行委員会総会懇親会 打合せ |
| | 2・26 | 同窓会理事會・百周年実行委員会総会懇親会 |
| | 2・29 | 百周年実行委員会 清算委員会 下打合せ |
| | 3・4 | 百周年実行委員会 清算委員会（百周年事業 終結） |
| | 3・16 | 同窓会広報部会 |
| | 3・25 | 校友課・事業部会・総務部会・打合せ |
| | 3・31 | 同窓会広報部会 |



JUNGIIDOの発行は 年1回となりました。

次号VOL18の発行は平成13年4月となります。同窓会の予告案内などにご不便をおかけいたしますが、なにとぞご了承ください。併せて、周年同窓会の報告など、少々時期はずれのご紹介になると思われまますが、ぜひともご寄稿のほどお願いいたします。近況報告・俳句・短歌なども奮ってご投稿ください。

滋賀県立膳所高等学校同窓会 年会費納入のお願い



ご理解とご協力をよろしくお願ひいたします。

同窓会会員の皆様には、本会活動に暖かいお力添えをいただき誠にありがとうございます。平成12年度会費を同封の振替用紙にてご納入いただきますようお願いいたします。

なお、平成7年以前に5年会費を納入いただいた方で5年会費分が満了した方にも振替用紙を同封させていただいておりますのでお調べいただきますようお願い申し上げます。

会費は年額3,000円となっておりますが、5年(15,000円)、10年(30,000円)まとめてご納入いただければ幸いです。

〔納入機関〕（振替用紙は共通です。）

郵便局 01010-3-30378
銀行 滋賀銀行 本店(110) 普 913381
びわこ銀行 本店(111) 普 335940

いずれも名義は、滋賀県立膳所高等学校同窓会
会長 宇野 勝 です。

※新卒の同窓生は、卒業後4年間は卒業時に納入する入会金3,000円のみで、卒業後5年目から会費納入をお願いしています。

※ご住所等に変更がある場合は振替用紙にその旨をご記入ください。



膳所高校 NEWS



同窓会入会式開催

2月29日に、同窓会入会式が行われ、男子271名、女子161名、合計432名の新しい同窓会員を迎えた。宇野会長より歓迎と激励の言葉が贈られた。その中で、「身体を鍛え、幅のある人間になり、一隅を照らす、なくてはならぬ人になるように。」と卒業生にユーモアを交えて語りかけられた。

予め各クラスの同窓会理事および常任理事が選ばれており、21世紀の同窓会活動の中心となり、若いエネルギーを結集させていただきたい。

- | | | |
|----|----------|-----------|
| 理事 | 1組 小豆澤敬幸 | 2組 田中 智也 |
| | 3組 木村 博基 | 4組 丹尾 琴絵 |
| | 5組 中谷 啓介 | 6組 藤田 亜郎 |
| | 7組 堀井 達生 | 8組 竹内 良樹 |
| | 9組 赤木 真也 | 10組 福井 一紘 |
| | 11組 永井 健 | |

常任理事に丹尾さん、藤田さん、竹内さん、永井さんが選ばれた。

第48回卒業式

3月1日に、本校体育館にて第48回卒業証書授与式が行われ、432名が学舎に別れを告げた。在校生(2年生全員、1年生代表)、教職員、保護者が出席し、来賓として、宇野同窓会会長、元校長松山先生、同佐野先生、同南池先生、前校長武原先生、旧職員関先生、PTAの小島会長、同墨谷副会長、同高木副会長のご出席のもと、盛大に開催された。

3年生各クラス毎に担任から呼名され卒業証書が代表に授与された。その後、浅田幸作校長が式辞の中で、「生涯学び続ける心と夢そして誠実で豊かな心を持つことを希望します。」さらに「道義・力行を将来の生き方の指針とするように。」と述べられ、卒業生への饒の言葉とされた。

今回は卒業生の言葉を3年11組船田隆行君が代表して読み上げた。その中で、行事など3年間の思い出を述べた後、「膳所高校で学んだことを誇りにしてこれからの人生を歩んでいきたい。」とさわやかな口調で出席者に感銘を与えた。

卒業生達は、緊張感の中に喜びを噛みしめ、吹奏楽班による「蛍の光」演奏の中、満場の拍手を浴びながら、会場をあとにした。

またこれに先立って、前日2月29日に卒業記念品目録贈呈式が行われ、代表の3年11組柏村良和君が、浅田幸作校長に目録を渡した。記念品は、体育館用暖房器具4台、中庭用テーブル2個で、暖房器具は特に冬季の体育館内での諸行事に使用される。3月1日の卒業式にも早速使用された。

受賞報告

- 財団法人音楽鑑賞教育振興会主催 第32回論文作文募集 高校生の部 優秀賞 2年生 三吉英里奈
- 財団法人音楽鑑賞教育振興会主催 学校入選記念品としてパオニア賞 40型プロジェクト型テレビ 1台 LD/CDプレーヤー 1台
- 同 高校生の部 学校賞 入選記念品として レーザーディスク 10枚 (財団法人音楽鑑賞教育振興会より)
- 音楽の授業を通して受賞

同窓会入会にあたって

膳所高校での3年間と自分

平成12年3月卒業 岩本 勇太

自分は過去を振り返るのが、得意でも好きでもない。しかし、生徒会長まで努めさせてもらった膳所高校では、自分の人生になくはならないことを実に数多く学んだように思う。個人としての責任を果たすことや、他者と協力、ときには妥協することについてなどである。内省的に



なることができ、本当に大切なものを見極めようとする姿勢を養えたように思う。個人主義がはびこる中で、個人の無力さというのを知ることができた。様々な価値観を持った人々に出会ったが、他人に流されたり、受動的に行動すること無く自分の主体性を堅持したことは、ただ意地を張り通しただけと簡単に言い切れるものかもしれない。でも自分なりの信念と勇気はいつまでも持ち続けることが自分の独自性であり、可能性でもあるのだと深く信じている。ただそこでは、自分に関わる多くの人の見えない努力と、支えがあるということをお忘れてはならないのだ。

サクラサク!

主要大学合格者数

| | | | | |
|--------|---------|------|-------|-----|
| (国立大学) | 京都大 | 50名 | 神戸大 | 36名 |
| | 大阪大 | 34名 | 滋賀大 | 16名 |
| | 北海道大 | 10名 | 京都教育大 | 7名 |
| | 京都工芸繊維大 | 7名 | 滋賀医大 | 7名 |
| | 信州大 | 6名 | 大阪教育大 | 6名 |
| | 金沢大 | 6名 | 広島大 | 4名 |
| | 大阪外大 | 5名 | 奈良女子大 | 4名 |
| | 山口大 | 4名 | 静岡大 | 4名 |
| | 千葉大 | 3名 | 岡山太 | 4名 |
| | 筑波大 | 2名 | 東京農工大 | 2名 |
| | 名古屋大 | 4名 | 琉球大 | 2名 |
| | 横浜国立大 | 3名 | 三重大 | 3名 |
| | 鳥取大 | 5名 | 東京大 | 1名 |
| | 東北大 | 2名 | 福井医大 | 3名 |
| (公立大学) | 大阪市立大 | 9名 | 滋賀県立大 | 6名 |
| | 大阪府立大 | 8名 | 京都府立大 | 6名 |
| | 東京都立大 | 2名 | 福井県立大 | 3名 |
| | 京都府立医大 | 1名 | | |
| (私立大学) | 立命館大 | 219名 | 同志社大 | 88名 |
| | 関西大 | 34名 | 京都産大 | 8名 |
| | 龍谷大 | 8名 | 関西学院大 | 19名 |
| | 同志社女子大 | 6名 | 早稲田大 | 5名 |
| | 京都女子大 | 4名 | 関西外大 | 2名 |
| | 慶応大 | 1名 | | |

編集後記

今世紀最後の号となりました「JUNGO IDOL」VOL.17。未だ3月の末日とは思えない程の肌寒さですが、この会報が皆様のもとに届く頃には、あのなつかしい相模川沿いの満開桜に囲まれ、ひときわ目立つセミナーハウスが聳え立つ第2グラウンドから、新入生もまじった後輩たちの歓声が響きわたることでしょう。

21世紀の幕開けは、幅広い世代からの身近な投稿をお待ちしています。

道義の桜、さらなる開花。(弱輩 a)

- 上野 滋子 (東2)・谷口 啓司 (膳10)
- 田中美津代 (東4)・佐田 葉子 (旧大)
- 山田 勲 (膳11)・宮崎 美恵 (大3)
- 高橋 好乃 (東4)・花坂 多恵子 (膳6)
- 服部 章 (膳12)・若代 敦子 (膳24)
- 岡澤 則子 (膳26)・吉田 稔 (膳26)
- 福井 浩 (膳29)

■新しい出発「道義の桜、さらなる開花」
創立百周年を終え、21世紀のさらなる膳所高校同窓会の発展を願って「道義の桜、さらなる開花」を新しいキャッチフレーズとします。(広報部会)